

ありて、あなたへ御かわらけのもの二色にて、一かまいらせらるゝ、あんせんじどのへも、御かわらけのもの三いるにて、一かまいらせらるゝ、七年七月九日、宮の御かた、ふしみ殿、二宮三宮、めうほう院殿、御むろ、御かつしき御所、大しゆんの御かつしき御所、めでた御さか月まいる。

〔親長卿記〕文明八年七月十一日、參内依召也、若宮御方已下有御祝之儀、いきみたまく

〔親元日記〕寛正六年七月十一日丙辰、新造御生御玉、

文明五年七月十一日辛丑、公方御生御玉御祝也、貴殿御出仕、十二日壬寅、貴殿生御玉御祝、御内方悉一種一瓶進上之、御一家少々如上、武田殿、女中様御出、終夜一獻あり、奉公方衆少々同前、  
〔三水記〕文龜四年元年永正七月七日乙未、今日三宮御方御目出事有之、十日戊戌、今日未刻、宮宮御目出事御申沙汰有之、竹園御兩御所宮御方、二宮御方、略中新御所於小御所有之、月卿雲客已下候縁、悉圓座、十一獻參之、堂上歌有之、悉沈醉、

〔天文御日記〕天文十五年七月八日、一自光應寺爲佳例、生靈玉索麵口鉢、干鯛一折、指樽一荷、坊瓜二鉢來、一日沒過て各食之、此時兼智上人久今西向、治部卿此衆禮有之、各へ勸愚盃、一今朝、南向爲生靈玉百疋被出之、慶壽院へも百疋被申候、合之明日冷麵可調之由候條、今日不勸盃、  
十日、一生靈玉如佳例令調備、仍四汁十菜茶子五種也、人數者、南向左西向、兼譽昨日朝歸坊、又兼智、兼澄、教清、純惠、新發、城入等也、此外末之一家衆於亭之次令食之、

十一日、一小兒生靈玉如例年調之、於新殿有之、汁三引物壹、菜六、茶子五種也、人數者如昨朝也、末之一家衆於亭如昨日令食也、

十二日、一本宗寺爲生靈玉冷麵添着有之、取居一膳、食籠壹出也、人數者、兼智夫婦、新發、治部卿、南向等也、城入相伴也、  
十三日、一去八日、南向生靈玉之貳百疋、九日者慶壽院依霍亂氣、今日有之、